

## 平成25年度「市長と語りあう会」について

### 1 出席者状況

| 開催日（曜日）       | 会場          | 時間          | 出席人数 |   |    |
|---------------|-------------|-------------|------|---|----|
|               |             |             | 男    | 女 | 計  |
| 平成26年2月17日（月） | 西益田地区振興センター | 19:00～20:05 | 24   | 7 | 31 |

#### ○市側出席者

市長、総務部長、秘書広報室長、広報広聴係長

### 2 会の概要

#### ○開会（秘書広報室長）

- ・ 会の趣旨説明
- ・ 出席者紹介

#### ○あいさつと市政運営の説明（山本市長）

市の今後取組むこととその現状について重点的に話をする。

##### (1) 行財政改革

- ・ 昨年12月議会で新たな行財政改革を示した。
- ・ 行財政改革に取組む背景には、市の財政（歳入面）が益々厳しくなることがある。
- ・ 地方交付税について、市町村合併後10年間は合併前の基準で交付税が措置されているが、今後は段階的に減額されていく。現在の交付税額が今後段階的に減額されていき、平成27年度から平成32年度までの5年間で12億円減額となる。
- ・ 12億円は、市のH25年度一般会計の年間予算（約250億円）の5%にあたり、合併11年目からはこの減額が毎年行われることになる。平成32年からも収支均衡が保たれるように努めていかなければならず、特に民間への業務委託や物品購入量の制限、補助金の見直しなどで人件費、物件費、補助費について大がかりな削減に取り組む。
- ・ 平成25年度から平成28年度までの前半4年間で集中改革期間とする。
- ・ 地域の皆さんに特に影響のあるものとして、補助費がある。市民の皆さんに、今一度、ご理解ご協力を願いたい。

##### (2) 人口拡大計画

- ・ 3月議会で具体的な計画を示す。平成26年度から28年度まで集中して思い切った施策をとっていき。行革の集中改革期間と重なることから、人口拡大を一つの基準として縮小するところは縮小し、打つべきところにはお金を使うという、メリハリをつけていく。このことは市民の方にしっかりと説明していきたい。
- ・ 人口拡大の要素については、社会増減（転入者数と転出者数の差）、自然増減（出生者数と死亡者数の差）に加えて、交流人口拡大もその要素である。交流人口については、一時的に益田市に滞留される方であるが、益田市に来られる頻度が増えれば定住人口にもつながっていく。空港利用促進、観光面、市内での会議開催などを考えて、滞在期間も延ばしていく。
- ・ 社会増のためには、いかに転入を増やすかというU I ターン促進策として住宅問題対策が必要。転出を食い止めるには雇用の創出が不可欠。
- ・ 自然増のためとしては、子育てに要する費用の負担軽減を考えており、どういう形で取り組んでいくかを人口拡大計画の中でまとめる。

##### (3) その他の重点事項

###### ① 萩・石見空港

東京2便、大阪季節便の新ダイヤの紹介

###### ア 東京便

- ・ 「羽田発着枠政策コンテスト」の結果により3月30日から2年間の措置として東京の2便化が決定した。内容としては、地域の活性化につなげることで、損失は共同して折半することを提

案し、萩・石見空港は最高の評価であった。この2年間で本当の勝負になる。

・ 1月20日にグラントワで総決起集会を開催した。最初の1年、しかも前半が重要になってくるので、ご協力をお願いします。

イ 大阪便

・ 今年も7/18～8/31までの夏季限定運航が決定した。東京、大阪便ともに、首都圏や関西方面からの需要と地元からの率先した利用が必要。ぜひ空港利用を。

② 山陰自動車道

ア 浜田・三隅間(浜田―西村、西村―三隅)

・ 浜田・西村間は平成26年度末に開通見込みで、西村・三隅間は平成28年度末までに開通見込みである。

イ 三隅・益田間

・ 平成23年度末に事業化が決定された。今、調査、設計、測量中で、安田、鎌手地区においては昨年秋から地元説明会が始まっているが、何年開通かは決まっていない。今後用地買収が始まる。

・ 早期開通のためにも用地買収にはご協力をお願いしたい。何とか、2020年までには、完成したいと思うが。

ウ 萩・益田間

・ 萩・益田間の60kmについて、これまでは事業化も決まっていなかった。平成25年度に区間絞り込み調査区間となり、60kmの中のどこを優先するかという調査が始まった。できれば、益田―田万川間から始めて頂きたいと要望していく。

・ 1月31日に人権センターで座談会を行った。国に対する要望力を高める為には、地元の力が必要。気運が高まるよう、皆さんからの力をいただきたい。

③ その他(平成25年度西益田の状況)

・ 国道9号の改修工事が進んでいる。安富の交差点(テライがあるあたり)に右折レーンを作る要望をしていたが、事業決定があり地元説明会があった。

・ 3月終わりには、清月寮が竣工しオープンする

・ 横田市営住宅が、平成26年度から着工

(4) 意見交換

質問項目は以下のとおり

- ① クライミングガルテンについて
- ② 議員定数について
- ③ JR西日本、豪華寝台列車の運行について
- ④ 緊急時、災害時の対応について
- ⑤ 安富橋改修工事について
- ⑥ 空き家に付随する農地の利用について
- ⑦ 高齢者が利用する交通手段への補助について
- ⑧ 空き家問題について

○ 閉 会 (秘書広報室長)

# 平成25年度「市長と語りあう会」

開催日時：平成26年2月17日(水)19:00～20:05

会場 西益田地区振興センター

| 要 望 事 項 等   | 回 答   |
|---|---|
| <p>① クライングガルテン事業廃止について<br/>測量費など随分のお金を使っている。副市長が釈明しているが、市長が行うべきではないか。</p>   | <p>① 12月議会で説明したが、事業廃止により補助金も国へ返戻することになった。水質検査の結果、農業で利用するには問題はないが、飲用では厳しいことが判明した。浄化しようとする多額の費用がかかる。結果的に事業を取り止めることになった。<br/>元々の目標は、交流人口拡大、農業の活性化を図ること。問題であったのは、これまでの事業化決定の仕方だと思っている。今後は、慎重に協議をしながら、人口拡大につなげていく為に、他の土地で実施できないか検討していきたい。</p>  |
| <p>② 議員定数について<br/>議員定数について、適切な民主主義の考え方をしていないのではないか。多数決で決めているような気がするが…。</p>  | <p>② 議会のあり方については、自分は執行部側なので差し控えたい。<br/>議員定数については、周辺の浜田市や津和野町では、減になった状況もある中、議員定数特別委員会で検討している。<br/>定数は少なければよいというものでもなく、又、中山間地の少数意見も踏まえなければならぬと思う。民主主義を実現させて行く場も議会であり、色々な観点から考え結論を出していただきたい。合わせて、議会に対して、市民の皆さんの意見や議論を期待したいと思う。</p>   |
| <p>③ JR西日本、豪華寝台列車の運行について<br/>2年前倒し2017年度には、JR西日本が京都を始発として豪華寝台列車を運行すると聞いている。人口拡大に繋がる観光客増加の為に、益田市にも、是非、走らせてほしい。</p> | <p>③ JR西日本の寝台列車運行については、JR九州で運行している、7ツ星in九州の人気に影響されていると思う。ぜひ、益田市を通過、できれば停車していただきたい。なんとか引っ張ってきたいと思っている。<br/>JR九州の場合、1番高い運賃は50万円だが、稼働率100%で予約がいっぱいの状況。会社も知名度を上げる為、今後富裕層を呼び込む為に、赤字を覚悟で運営している。<br/>一方、JR西日本はそこまでの気持ちはなく、赤字になることは想定していない。最近、社内でプロジェクトチームが立ち上がり計画を立てる中で、始点と終点を別にして宮島、石見銀山など世界遺産の地を巡り、京都や大阪に帰ってくるルートの話があると聞く。<br/>豪華寝台列車の呼び込みについては、先日の4市長会議の中で、日本海側の各市で連携してJRに要望していくことにまとまった。山陰本線と山口線の分岐は益田という強みもある。できれば美しい自然を見ていただけるように、三江線と調整しながら昼間の設定ができればと思う。</p> |
| <p>④ 緊急時、災害時の対応について</p>   | <p>④ 災害対策本部を立ちあげ、第1次、第2次対</p>   |

|   |  |
|---|--|
| <p>昨年夏の豪雨の際、梅月では土砂崩れなどがあったが、市の対応が縦割りであったと感じた。</p> <p>緊急時、災害時に行政は縦割りでなく横断的な対応として、一本化して、総合的にマネジメントするようにしてほしい。又、平常時の対応も横断的に対応してほしい。</p> <p>⑤ 安富橋改修工事について<br/>安富橋が通行止めになって1年経つ。改修の調査・設計については補正予算がついたが、なかなか事業者が見つからない中、ようやく事業者が決まったと連絡があった。工事完了までには、まだ時間がかかると聞いている。<br/>河成（こうなり）は、小学生、中学生が増え続けているので、安全に学校に通えるように対応してほしい。</p> <p>⑥ 空き家に付随する農地の利用について<br/>農地が付随している空き家が多くある。都会から帰ったUIターン者には、農業経験者が少ない中で、所有権移転までしていただきたいと話しているが、非農家は農地を取得して農業をすることができないきまりになっている。<br/>UIターン者が、いつでも気楽に農業ができるよう、働き掛けをしてほしい。</p> <p>⑦ 高齢者が利用する交通手段への補助について<br/>後期高齢者制度に該当する立場にあるが、最近通院が増えた。昨年は医療費が10万円を超えたが、どちらかという、医療費よりも交通費がはるかに多かった。<br/>東京には、1万円位負担して、年間利用できるシルバーパスがある。自分は、バスをよく利用するが交通費がかかる為、買い物や病院に行きたくても我慢している。そのような方は沢山いると思う。高齢者に対する交通援助を考えてほしい。</p> <p>⑧ 空き家問題について<br/>自治会内に2件の空き家がある。うち1件は売買の話が決まりかけているが、家は買えるが隣にある畑は買えない。その畑にある、柿や栗を猪などが取りに来ている状況にある。持ち主の責任のもとで農地をUIターン者が管理するようなことにならないか。<br/>奥出雲では、特例を設けている。住んでい</p> | <p>策をとり、迅速に対応したつもりだが…。100%のご期待にそえなかった。市役所内のどの課もぎりぎりの職員で業務を行っている中、危機管理対策課の職員を充実させるのは、厳しいが、少しでも迅速に丁寧な対応ができるよう、又、庁内も縦割りでなく、連携もしっかりとれるようにしていきたい。</p> <p>又、平常時にあっても横断的に対応できるようにしていきたい。</p> <p>⑤ 地区での話し合いにも参加させていただき、状況をよく理解しているので、調査・設計の予算も昨年度補正予算を組み対応した。<br/>今年は災害対応、消費税増税前ということで、請負業者がなかなか決まらない状況であったので、市としても苦慮した。<br/>まだ建設の予算までは整っていないが、市の単費では厳しいところがあるので、国県に対し老朽化や学校通学路の安全対策を主張して、様々な補助メニューを活用して、対応していきたい。</p> <p>⑥ 了解した</p> <p>⑦ 切実なご要望をいただいた。色々な事情があって、ご要望にそうすることができないところだが、状況を伺いながら、なんとか、交通対策の充実を進めていきたい。</p> <p>⑧ UIターンにつながるご提案として、今後検討していただく。</p> |
|---|--|

る住民の安心・安全の為にも益田市でも法の  
整備をお願いしたい。

午後8時05分終了

